

委員会レポート

問 結婚新生活支援補助金の実績は。

答 8件。

問 定住促進の今後の対応は。

答 今年度、事業のアイデアを考えてもらう「弥富に住んでみたい！住み続けたい！を考えるオンラインワークショップ」を開催予定。

問 伊勢湾台風を題材としたミュージカル観覧の応募総数は。

答 538人。



▲ミュージカルの様子

問 コミュニティバス運行事業について基礎調査の内容は。

答 ①バス停乗降者数調査。
②利用実態や潜在的な移動需要を把握するためのモニタリング調査。

③住民の日常の移動特性や潜在的な移動需要等を把握するための住民アンケート調査。

問 一人1回あたりの経費についてどのような分析をしているか、また改善点は。

答 運賃収入の伸び悩みの要因の1つとして無料で利用できる75歳以上の方の利増。

運行経費はバス停の新設や人件費等の上昇、車両の更新や修理費が見込まれる。

改善策としてバスルートやダイヤの見直しを行い、利用者増を図ることが重要。



問 スイートハートプロジェクト補助金について、当初の見込みに比べて最小の費用に抑えられているが事業効果は。

答 補助金要綱の見直し、運営方法の再確認と見直しの結果、費用の抑制につながった。

PR効果について一定の効果があった。



問 プレミアム付商品券発行事業について販売数は。

答 消費税10%引き上げ対策としての商品券販売冊数は1万2272冊。

問 予想に反して少なかったのか、その理由は。

答 申請率は非課税者約39%、子育て世帯約31%。予想を下回る結果という認識。主な要因は対象者の条件の複雑さと手続きの煩雑さであった。

決算審査 健康福祉部



問 生活困窮者自立支援事業で、就労その他自立につながった成果は。

答 令和元年度に新規で受け付けた件数は47件、そのうち就労その他自立につながった件数39件。

問 予防接種事業の風疹予防接種のクーポン券の利用人数及びその割合は。

答 対象者2495人のうち、抗体検査を受けた方716人。割合28・7%。陰性と判定された方157人のうち、予防接種を受けた方135人。



▶風疹予防接種の啓発

問 いこいの里利用者数やカラオケ利用者数は年々減少傾向にあるが、営業日、営業時間や、市内在住者限定条件の見直し時期にきているのでは。

答 きんちゃんバスの運行の曜日や時間等の調整があるため、関係課と調整しながら今後検討する。



▲いこいの里のお風呂

問 今年度から認知症カフェを介護事業所に委託した理由は。

答 地域のふれあいサロンの開催に合わせて専門職を配置することは難しいとの意見があった。令和元年度から、相談対応ができるよう市内の社会福祉法人へ委託する形で、認知症カフェをスタートさせた。



▲認知症カフェ開催場所
(おふくろの家「いもーれ」)



▲認知症カフェは、市ホームページ、弥富市認知症ケアパスに紹介されています。

決算審査 教育部



問 学校給食調理業務委託料が、前年度に比べ小学校約300万円、中学校約130万円あがっているが、その理由は。

答 主に、3年間の長期継続契約となっており、契約上の毎年度の差額に加え、令和元年10月から始まった消費税の増税分である。

第3部 討論・採決



討論・採決が行われ、全議案を了承しました。